

原料費調整制度に基づく簡易ガス(ちくし台団地)料金の調整について
(2013年1月 ~ 2013年3月 検針分)

2012年8月 ~ 2012年10月 のLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2013年1月 ~ 2013年3月 検針分の単位料金は、2012年10月 ~ 2012年12月
検針分に比べて、1m³当たり 6.51 円の調整を行うこととなりました。

※当社は平成25年1月検針分からガス料金(基準単位料金)の改定を主な内容とする供給約款
および選択約款の変更を九州経済産業局長へ届出いたしました。

下表の2013年1月の単価はこの料金改定に伴って新たに設定された基準単位料金に基づく調
整を行っております。(2012年12月分単価は料金改定前単価)

●簡易ガス供給約款料金における調整単位料金 (消費税込)

	単位	(A) 2012年10月 ~ 2012年12月	(B) 2013年1月 ~ 2013年3月	(B)-(A)
A料金表 (0m ³ ~8m ³)	円/m ³	386.98	393.49	6.51
B料金表 (8.1m ³ ~30m ³)	円/m ³	353.38	359.89	6.51
C料金表 (30.1m ³ を超える)	円/m ³	293.81	300.32	6.51

●平均原料価格

	単位	2012年5月 ~ 2012年7月	2012年8月 ~ 2012年10月	基準平均原料価格
平均原料価格	円/トン	66,700	69,310	84,000

※平均原料価格が134,400円以上となった場合は134,400円

(10円未満端数四捨五入)

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{基準平均原料価格} - \text{平均原料価格} \quad (\text{平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき}) \\ &= 84,000 - 69,310 = 14,600 \text{ 円/トン} \\ &\quad (100円未満端数切捨て) \end{aligned}$$

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

$$\text{調整単位料金} = \text{基準単位料金} - 0.210 \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times (1 \times \text{消費税率})$$

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2013年1月 ~ 2013年3月 調整単位料金	(B)-(A) 調整差額
A料金表 (0m ³ ~8m ³)	円/m ³	425.69	393.49	-32.2
B料金表 (8.1m ³ ~30m ³)	円/m ³	392.09	359.89	-32.2
C料金表 (30.1m ³ を超える)	円/m ⁴	332.52	300.32	-32.2

(小数点第3位以下の端数切捨て)